

ようだ。茂庭にはかなりの猿が住んでいる。(1.....)

[タイム] 出合(10:00)→遊行終了(10:25)

シラカネ沢

1983年7月10日

L.....

烏川林道のゲート前に車を置き、シラカネ沢に向けて林道を歩く。黒滝沢の100m程手前で烏川に下降し、ワラジをつけて対岸のシラカネ沢出合まで渡渉する。

8:15遊行開始。出合から沢は階段状となっている。15分程で10mの滝にぶつかるが、右岸を直登することができる。その上は河原となり、10分程歩くと2m程の滝が連続して出てくる。

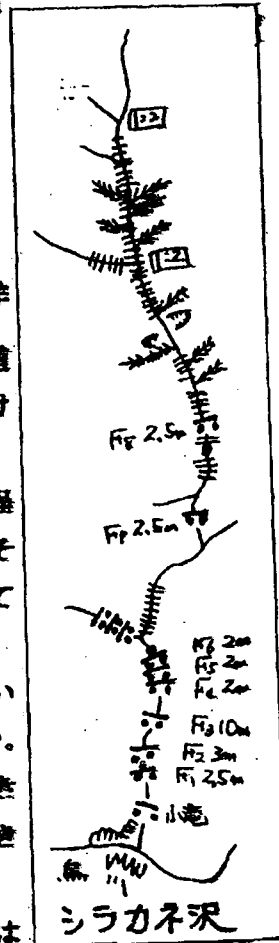
次に右岸から支流が入る。階段状の滝となって合流している。水量比は5:1。階段状の滝となって合流する。先に進む。

5分程歩き、2mちょっとの斜溝を乗り越し、カーブをきると広い河原に出る。ここで沢は2つに分かれ、中州ができているが、左の方は途中で伏流となっている。

河原を過ぎ、小さな滝を越すと再び河原。そしてその先はナメとなる。ところどころ土砂がくずれていて、倒木も多く、歩きづらい所がある。

シラカネ沢に入って1時間50分、沢は細くなり、伏流となる。西沢の下降を予定しているので、左岸を登り、5分程で尾根に出る。(記.....)

[タイム] シラカネ沢出合(8:15)→遊行終了(11:05)

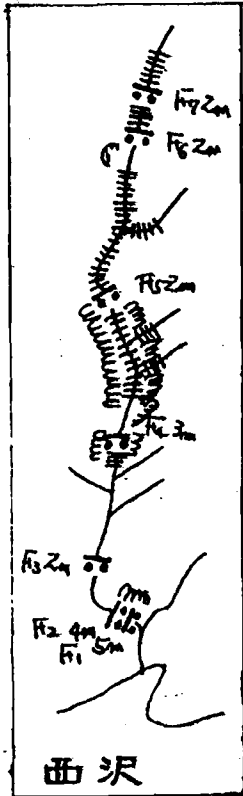


西沢(下降)

1983年7月10日

L系

尾根から3分程で西沢に降りる。上部は見渡す限りナメである。2m程の小滝を確認してまずは昼食とする。



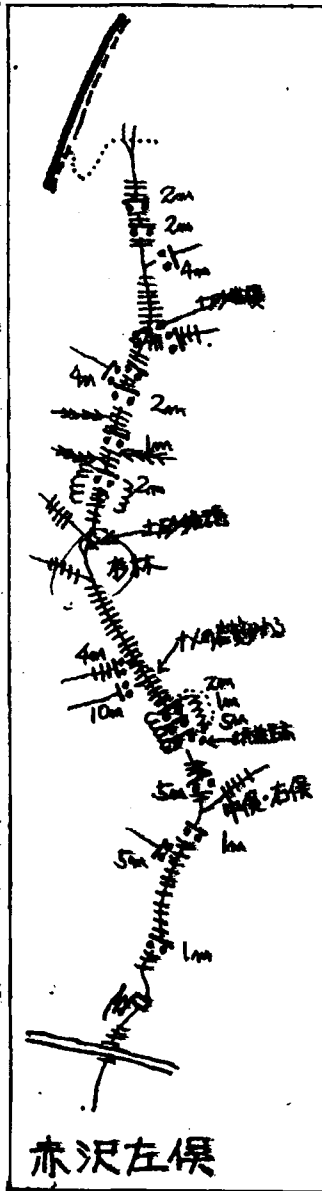
11:35下降開始。ナメが続く。途中、倒木があり歩きづらい場所もあるが、全体的にはナメである。下降をはじめてから35分で左から沢を合わせる。2:3で右沢の方が水量が多い。右沢もまたナメである。右岸からルンゼが2本入る。それを過ぎると釜と小滝の連続する、比較的明るいゴルジュとなる。スケールは小さいが美しい。

ナメが終わわり、広い河原となる。左岸のガレ場は大きくえぐられている。次に3mの滝が出てくる。右岸をアップザイレンで降りる。登りの時は右岸のバンドを利用して越えることができそうである。

30分程で4m、5mと滝が出てくるが、いずれもクライミングダウンで降りられる。13:15右俣と出会い、まもなく烏川に出る。下降到1時間50分を要した。

(記・...)

[タイム] 下降開始(11:35)→烏川(13:20)



赤沢左俣

1983年6月18日

13:00ワラジをつけて進行開始する。すぐに砂藪ダムが出てきた。沢登りをやっいて興をそがれるだけでなく、乗り越すにもやっかいなのがこのでの人工の建造物である。ホールド、スタンスとなるようなものはまずないし、たいていは高欄く破目となる。ここでも左岸を摺いて上に出た。

この先はずっとナメになる。水量は少ないが、サン